



議会だより

2015.2
vol.45

ふじかわぐちこ



交流都市羽生市で開催の
世界キャラクターさみつと

- こういうことを決めました 2P
- 一般質問 4P
- 委員会レポート 10P
- 窓・議会見聞録 16P

平成26年第4回定例会

こういうことを
決めました!

居宅介護施設の指定管理者に町社会福祉協議会



建設中の居宅介護施設

- 登山道線の国道から河口湖総合公園までの電線地中化、河口地区の多目的広場の整備、八木崎公園の改修、町民体育館耐震改修工事、町民運動場にある夜間照明の改修、勝山地区公民館の建築、福祉ゾーンの外構工事、小立福祉センター改築工事を来年度の早期着工を目指している。

平成26年第4回富士河口湖町議会定例会は、12月9日に開会し、会期を16日までの8日間と決めました。報告1件、指定管理者の指定2件、条例の制定1件、条例の一部改正7件、特別会計補正予算5件、一般会計補正予算2件、議員発議1件、同意案件1件について、審議し可決承認しました。

一般質問は、6人の議員が登壇し、防災、観光など22項目について行いました。

定例会における渡邊凱保町長からの主な概要是次のとおりです。

● 平成27年度予算編成方針は、平成26年度から地方交付税が段階的に縮減され、歳出の構造の見直しと歳入の確保への取り組み、さらに国、県の予算動向の情報を収集する。

(1件)

● 報告

- ▼ 平成26年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

● 町有施設の指定管理者の指定 (2件)

- ▼ 施設名：河口湖美術館、河口湖ミューズ館、船津胎内フィールドセンター、大石臼伝統工芸館、河口湖ハーブ館、河口湖自然生活館

指定管理者：一般財団法人富士河口湖ふるさと振興財団

指定期間：3年

- ▼ 施設名：富士河口湖町居宅介護施設

指定管理者：社会福祉法人富士河口湖町社会福祉協議会

指定期間：5年

●条例の制定

(1件)

▼町観光業務、文化交流拠点地区内における建築物等の制限に関する条例の制定

テーマパークとして定められている町東部地域の一部を準工業地域として用途地域に定め、特別用途地域を併せて指定する。

●条例の一部改正

(7件)

▼町税条例の一部改正

平成28年度から固定資産税に係る前納報奨金の廃止と小型特殊自動車の税率の改正

▼町特別会計条例の一部改正ほか5件

大石、河口、浅川の簡易水道事業特別会計を統合して、河口湖簡易水道事業特別会計とする。

●議員発議

(1件)

▼富士スバルラインのマイカー規制期間の短縮等を求める意見書

富士スバルラインのマイカー規制により富士北麓地方の観光産業が影響を受け、来夏の規制期間の短縮とエコカーの規制解除、通年通行に関する意見書を山梨県知事に提出した。

●町教育委員会委員任命の同意 (1件)

▼北澤 良男 氏(富士ヶ嶺)

●特別会計補正予算 (5件)

▼平成26年度国民健康保険特別会計補正予算第3号ほか4件

●一般会計補正予算 (2件)

▼一般会計補正予算(第10号)

介護給付・訓練等給付費2,131万円、除雪作業委託料1,500万円

▼一般会計補正予算(第11号)

商工業振興資金利子補助金150万円

■第7回臨時会

平成26年第7回臨時会が11月10日に開会し、一般会計補正予算1件を審議し、可決して同日閉会しました。主な内容は、河口湖南中学校テニスコート及び弓道場の建設事業費1億2,000万円のうち町の負担分として施設建設事業負担金7,424万円です。財源は合併特例事業債と一般財源を充てるものです。

■第8回臨時会

平成26年第8回臨時会が11月25日に開会し、条例の一部改正1件、特別会計補正予算6件、一般会計補正予算1件を審議し、可決して同日閉会しました。主な内容は、人事院勧告並びに国家公務員の給与改定に鑑み、一部改正をしました。一部改正等に伴う補正額は、1,604万円と衆議院議員選挙に係る経費1,072万円です。一般財源と県からの委託金を充てるものです。



知りたい!
聞きたい!



Q1 平成27年度の予算編成方針は



一般質問者
渡辺 喜久男

質問 人口減少が進むなか、東京一極集中を排除し、アベノミクスと称して地方創生を掲げる政府の方針の下、町は新年度予算をどのように構成するのか。

政策財政課長 地方交付税の段階的な縮減が始まっている中で、財政状況や厳しい将来の見通しを全職員の共通認識とする。その上で歳出の見直し、及び今後の国・県の政策の動向に細心の注意を払い、地方交付金等のより実効性のある財源確保を念頭に予算編成に臨む。

Q2 富士山噴火への対策は

質問 御嶽山の噴火は、わが町にとつても身に迫るものである。町では今後自然災害に対する地域防災計画の火山編の見直し・改正をどのように進めるのか。



静寂(冬の河口湖)

Q3 教育委員会の組織改正について

3

質問 地方教育行政法の60年ぶりの改正は、いじめ防止を目的としたものである。町立学校において発生しているいじめの問題をどう解決するのか。

教育長 ご指摘のいじめの存在は教育委員会でも確認している。いじめの発見は、周囲の気づきや保護者からの訴えもあるが、何といつても子どもたちのアンケート等による訴えによるところが多いと承知しており、発見後は早期に対応し、児童が不登校などにならないようフォローしていく。当事者はもちろん、学校や全体の子どもたちにいじめを行うことのいけなさを指導していく。

総務課長 町の防災対策の根幹は地域防災計画であり、富士山の突然の噴火への対応も項目として設ける必要がある。見直しに当たり専門的な判断が必要な項目もあり、関係機関との協議や専門家の意見等も積極的に取り入れるなど、適切に対応していく。

富士山火山防災対策、特に避難訓練は

質問 御嶽山噴火災害の教訓から富士山火山噴火を想定した避難訓練を、来年度実施する考えは。園児、児童、生徒用のヘルメットや粉じんマスク等の整備に対する町の対応は。非常用自家発電設備を設置している避難所施設、予定している施設及び整備する計画があるのか。

総務課長 町の防災計画は火山噴火について対応策が決められているが、噴火を想定した訓練は行っていない。避難ルートの決定や避難先の確保など具体的に決めなければならぬので早期に実現できるよう考えていく。校庭など安全な場所へ避難する時、防災頭巾または防災ヘルメットのどちらを備えるか学校と協議していく。

現在設置しているのは河口住民センターである。今年度勝山ふれあいセンターに補助金



一般質問者
小佐野 快

Q2 昨年の豪雪の課題から

質問 除雪した雪の処理方法や捨て場についてどのように考えているのか。また通学路の確保はどうか。

都市整備課長 除雪区域の変更や単価の見直し、排雪場所の設定と町除排雪計画策定に向けた取り組みを実施していく。



河口住民センター非常用自家発電設備

Q3 水道ビジョンに基づく値上げシミュレーションの変更は

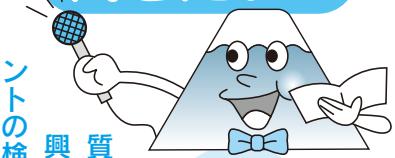
質問 平成28年4月から第2回の料金改定が行われる予定だが、事業目標、財務目標達成のため、当初のシミュレーションをどのように見直し改定していくのか。一般家庭の超過料金は現状35円(㎥)であるが、どのくらい値上がりするのか。平成29年度に町全体の水道事業を統合し、財政基盤の拡大や会計の一元化を図るが、統合への進捗状況はどうか。

水道課長 電気料金の値上げにより経費が増えたため耐震化工事が減り、会計の収支バランスが改善されていない。平成25年度に耐震化計画策定調査を実施した結果、配水池が老朽化しているため、新たに施設整備計画の作成と財源の見直しを行う。

基本水量から一般家庭も含めて第1回より値上がりすることを予想している。

平成26年度に大石、河口、浅川の簡易水道を統合して河口湖簡易水道事業とする。今後足和田と上九一色簡易水道の統合に向けて料金改定から進めていく。

一般質問



Q1 観光イベントの検証とその検討は

質問 わが町は基幹産業である観光振興が特に必要とされている。各種イベントの検証と今後の取り組みは。

観光課長 平均すると昨年並みのイベントによる集客である。単純に入込客数などから費用対効果をはかり、スクラップ・アンド・ビルドをすることは難しい。観光連盟と行政の在り方や財政基本計画策定の中で検討課題とする。

再質問 集客にマイカー規制の影響はあるか。

観光課長 4月から9月までの統計は、6か月間で約278万2千人、平均すると7%減少、マイカー規制が実施された7月と8月は8%減少している。複合的にいろいろな要因があり、マイカー規制は、7月、8月にとって大きな減少の要因である。



一般質問者
梶原 武

Q2 世界文化遺産になつた今、新しい観光事業は

質問 当町が世界文化遺産となつた今が町の

観光事業として最大のチャンスである。すばらしいイベントを一つ実施しては。

町長 地区の観光協会長等が協力・協調・連携してイベントや受入態勢に取り組んでいく。地区の協会、民間の積極的な提案で、広

域的な事業を町が支援している。富士山雪まつり、乗り捨て可能なレンタルサイクル、コスマス街道など事業の実現に向けて検討している。また現状課題を抽出し、観光案内板やホームページ、パンフレット等の多言語表示、案内や交通などの受入サービスの向上、環境整備、特産品開発など満足度を高めるよう取り組んでいく。

Q3 東京オリンピック・パラリンピックに向けてトレーニング場の誘致は

質問 夏季五輪のキャンプ地として富士山麓の冷涼な気候、東京から1時間半というアクセス、ミニキャンプを張るには最適地である。

また富士北麓にいくと自治体も観光も地域医療とスポーツが連携して健康になれる、といふまちづくりのために連携が必要であるが。

町長 関係機関、諸団体と協議しながら、どこの施設でどういうキャンプ地として意思表明していくのかを年内に検討を始める。整備さ

Q4 新倉河口湖トンネルの開通による誘導看板と船津浜への観光客の影響は

質問 新倉河口湖トンネルの開通は3月と聞いているが、観光客の動線、特に船津浜への誘導はどうのように考えているのか。

都市整備課長 町として要望を集約し陳情を予定していたが、県主導で意見を聞く機会を設置する。事前に観光課、各観光協会等と協議し、県営船津浜駐車場への誘導看板の設置を強く要望していく。



船津浜

婚活で人口増加への取り組みを

質問 当町における人口の推移と今後の見込みは。

住民課長 上九南部編入後から今年11月まで8年7ヶ月間の人口の推移は、2万5570人から929人増加して2万6499人となつているが、20歳から39歳の若年女性は214人減少、0歳から14歳の年少は502人減少、一方65歳以上の老年は1258人増加している。今後の見込んだが、少子高齢化による出生と死亡だけの自然増減を想定する上、人口移動がなければ今後減少に転ずる見込みだと推計する。

再質問 人口の自然増加へ婚活は、重要な取り組みだと考えるが。

政策財政課長 婚活への取り組みは、重要な政策だと考える。富士北麓地域、交流都市・羽生市との協議を始める状況にある。

地方創生事業に工夫を

質問 地方創生法が可決成立し、各地方で创意工夫に満ちた事業が進められ、これを政府が後押しする。町の今後の観光戦略は。

観光課長 優先課題として観光連盟の法人化に取り組んでいる。官主導型から民主導型への転換期と考え、オール富士河口湖で取り組める体制づくりに着手し、官公庁の示すガイド

ドラインに沿って満足度が高められるよう今後も官として取り組んで行く。

再質問 地方活性には企業誘致も重要だ。町で進めてる企業誘致は少しハードルが高い。たとえば、都市部の介護や医療の関連機関と連携してシルバー産業の誘致をと考えるが。

政策財政課長 シルバー産業誘致は、町も考えている政策だ。企業立地促進制度や産業立地促進助成制度が、若干ハードルが高い認識もあるので改定に向け作業を進めている。

再々質問 地方再生に伴う財源として、今後の辺地整備計画、過疎地域自立促進計画は。

政策財政課長 現在の計画は、平成27年度までとなつていて。西湖南・根場地区、富士ヶ嶺・本栖・精進地区について、策定委員会を設置し新たな辺地総合計画、過疎地域自立促進計画を、平成27年度中に策定して行く。

ふるさと納税の推進を

質問 ふるさと納税は地方の有効な財源と期待する。政府も、現行の控除額を2倍にする



一般質問者
渡辺 武則

とか、手続をもっと簡素化するなど、しっかりと取り組んでいきたいとしているが。

政策財政課長 制度に課題もあるが、町の特産品や地域・季節限定の宿泊券の開発など官民一体となつて行いたい。



2月の豪雪(根場浜)

防災棧橋と水上交通の整備を

質問 今後、豪雪や富士山噴火等大規模災害を想定するに防災棧橋と水上交通の整備が必要かと考えるが。

総務課長 現状、河口湖のみ防災棧橋が設置されている。他の湖水についても防災対策の重要性を景観保全のあり方と合わせ、今後山梨県や関係諸機関と協議を進めたい。

一般質問

知りたい!
聞きたい!



Q1 灯油代補助の実施で くらし・営業支援を

質問 灯油価格の高止まりの状況が長期間にわたっている。2014年11月25日現在で1,839円であり、2004年度の平均986円と比べると大幅に高い水準だ。

それに加え、円安や消費税増税などで食品や資材などの価格が値上がりしている。くらしや営業の支援強化のために、灯油代補助の実施を。

Q2 子ども・子育て新制度 必要な保育の保障を

町長 石油製品価格の高騰は、住民生活のなに幅広く影響を及ぼすので、まずは国が対策を講ずるべき課題。国の動向を見極め、町の財政状況も考慮し、判断していく。

質問 2015年4月より、全国で、子ども・子育て新制度が実施となり、保育所申し込みの前に、町による「認定」を受け、8時間か11時間かの決定がされるしくみになる。必要な保育が保障されるように柔軟な対応を。

福祉推進課長 全国一律の制度であり、町の裁量で行うのは難しい面もあるが、住民の立場に立って対応していく。

一般質問

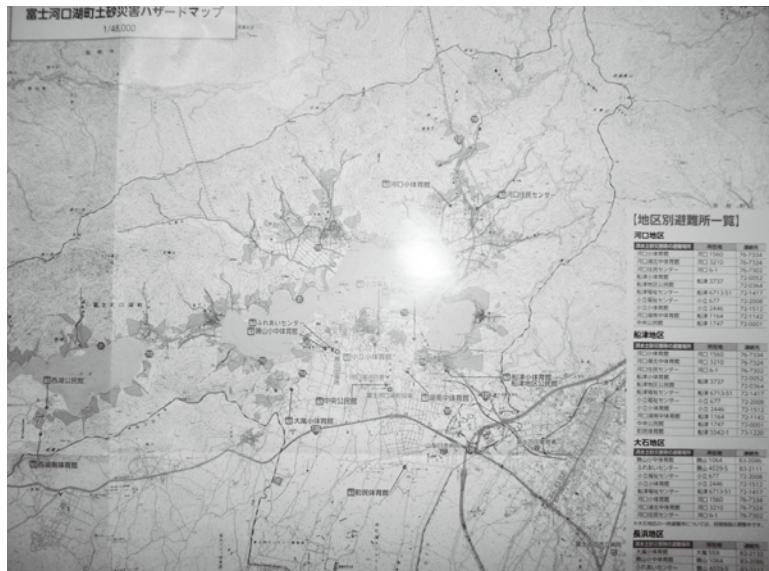


一般質問者
山下 利夫

Q3 土砂災害の恐れがあるときの避難対策の周知を

質問 当町では、251の土砂災害警戒区域が指定されている。避難所や避難経路も含め地区内の多くが警戒区域となっている地区は、とりわけ困難な課題を抱えている。あらゆる機会を通して、警戒区域の範囲、避難場所などを繰り返し周知していくことがまずは大事だ。

総務課長 様々な機会や情報手段を通して、防災対策の説明などを行ってきた。さらに多くの方にご理解いただくために、10～11月に行つた土砂災害などについての意見交換会のようすをCATVで放映することも検討したい。



災害に強いまちづくりを

で、平成27年4月からスタートする第6期介護保険料の基準額はどのくらいになるのか。また、どのような事業計画になるのか。

質問 町民の生命と財産を守り、安全で安心の災害に強いまちづくりについてどのように考えているのか。また、防災教育や啓発活動など、専門的な知識と機動力が要求されてきている。防災専門職を配置し、取り組みを強化する考えはあるのか。

町長 防災対策には最大限の努力をしてきた。災害時の情報発信の拡充や山梨県と緊密な連携に基づく河川及び急傾斜地等防災工事の実施、さらには、町民との意見交換会の開催など。危機管理においては、「トップが全責任を負う覚悟を持つて陣頭指揮をとる」このことを肝に銘じ、今後も防災対策を強力に推進する。

防災の専門的な知識を有する方がいるといなことでは、防災行政の進捗度合いが大きく異なり、その必要性も感じている。できるだけ早期に配置できるよう検討する。

第6期介護保険事業 計画を問う

質問 社会全体で支える介護保険料も上昇の一

途をたどり、富士河口湖町の介護保険料基準額として第4期は月額3830円、第5期は月額4666円と全国平均からは300円ほど低いが、町民への負担は避けられない状況。そこ



一般質問者
佐藤 安子

いじめ防止基本方針について

質問 昨年12月議会において、「いじめ防止対策推進法の制定を受けて」と題して、質問

させていただいた。本年度、町のいじめ防止基本方針が策定されたが、基本的な考えは。また、携帯やスマートフォンを使つたいじめがあるということで使用ルールを明確にする必要があるのではないか。

学校教育課長 いじめは絶対に許されないという姿勢で、教育委員会や学校、保護者や地域社会が実施してきた取り組みを法に基づき再構築した。また、8月にいじめ問題対策協議会を開催し、子供たちのいじめ防止のための関係機関が連携していくこと、また、湖南中あるいは鳴沢村教育委員会との連携にも発展させ、地域ぐるみの組織になるようにしたいと考えている。

県のPTA協議会等から、携帯、スマートgunakanの基本ルールも呼びかけに係る協力要請があり、既に県教委もこの呼びかけに協力するご回答した。



地域包括支援センター

会員レポート

常任委員会の活動状況を報告します。

急速充電機の現状は



急速充電機

質問 緊急充電メンテナンス委託料について、今から新規に設置するのか。

質問 地域おこし協力隊の200万円について詳しく。

政策財政課長 地域おこし活動や支援、農業、漁業の応援や住民の生活支援などを協力していただき定住定着を図ることが目的で、精進地区と本栖地区各1名の募集にかかる経費である。

質問 地域おこし協力隊事業の募集に至った経緯は。

政策財政課長 3年前から先進地を検証し、有効性を確認できたので当町でも実施。

地域おこし協力隊の詳細は

政策財政課長 4月分のメンテナンス料で、大石臼伝統工芸館は1月、船津浜は東電の許可を待つて設置する。メンテナンス料の26万7000円は普及プロジェクトから返還される。

質問 緊急充電機は無料だと認識しているが、有料化を検討してはどうか。

政策財政課長 当然、受益者負担が大原則である。今後、公平性の観点から課金は検討する。

ヘルメットの整備状況は

質問 消防のヘルメットが全消防団員に買い換えて非常に良いことだが、職員にはヘルメットは整備されているのか。

総務課長 全職員への配備はしていない。各階ごとに合計100設置してあるが、不足の部分は旧町村単位で支給されたものを持つている職員もいるので使用している。

町施設のソーラーシステム屋根貸し状況は

質問 屋根貸しについての進捗状況を伺う。

総務課長 公共施設の屋根を有効に活用するために考えた屋根貸しは、契約期間が20年になるため、古い建物は建て替えあるいはスクラップ・アンド・ビルトも検討しなければならない。いろいろな視点から検討した結果、最近の建物である、こもも保育所、西浜小学校体育館、富士豊茂小学校体育館の3施設となつた。町として多くの施設を貸して賃料が得られればよいと思う。

地方交付税の減額は

質問 地方交付税は、今年度から段階的に9億円減る状況であるが、今年度の減額はどの程度になったのか。

政策財政課長 地方交付税が8月に確定した。その結果、実質の対前年度比が6532万円の減となっている。縮減額が当初の見込みよ



世界キャラクターさみつ in 羽生

これからふじぴょんは

り若干少なく安堵している。要因は2000万円の税収が増加したことに加え、社会保障費に充当するための消費税交付金が増えて相殺した結果であり、対前年度比で減額となっている。

消火栓ボックスの管理は

質問 消火栓ボックスのなかにホース等を収納しているが、管そなどが盗難にあう話があり、管理はどのようにになっているのか。

総務課長 ボックス等は町の備品であり、総務課で管理している。全部確認することは不可能であるため、町消防団各分団に依頼して定期的に管理している状況である。現在は当町において、盗難はない。

町内視察

総務常任委員会は、11月25日に富士物産（株）、共立メンテナンス及び東横インホテル建設予定地、河口出張所を視察しました。



富士物産（株）視察

湖南中テニスコートの安全対策を

質問 湖南中のテニスコートが、湖南中の敷地以外の場所に建設することが決まった。学校から離れた場所になるが、安全対策をどのように考えているか。

町長 安全対策については、今後、注意して検討していく。

不法投棄への対策強化を

質問 富士河口湖町における不法投棄の発見件数が、富士北麓地域のなかで多いと聞く。対策は。

環境課長 過去に不法投棄があつた場所などに看板設置の要望があるが、それによつて余



不法投棄

計その場所が目立つてしまうこともあり、いまは控えている。重点的にパトロールを行うなどの対応をしていく。

質問 看板設置によって不法投棄が減った事例もある。そういう事例も研究していくことが必要では。

環境課長 青木ヶ原などの主要な場所には、富士東部の廃棄物対策協議会で設置した看板などもある。協議しながら検討していく。

国民健康保険会計への考え方

質問 今年度の国民健康保険会計予算は29億円ほどであり、前年度より3000万円ほど増えている。その要因は。

住民課長 被保険者数は、対前年度比92世帯減少しているが、医療の高度化、被保険者における高齢者の割合が伸びているため、予算額が増えていると考えられる。

質問 国保会計の基金はいくらか。

住民課長 平成25年度末で、8616万円だ。

質問 平成22年度に国保税を値上げしたにも関わらず、大変厳しい会計だ。町長はどう考えているか。

町長 銳い質問だ。担当課とよく相談し、内容を整理する。

質問 医療費を減らしていくためにも、健康づくりをすすめていくべきである。グラウンドゴルフの大会を町主催で開催することを提案したい。

町長 少ない費用で効果が出るのであれば、積極的に取り組みたい。

グラウンドゴルフ大会の開催を



グラウンドゴルフ大会

小学校入学前の障害児への対応は



タブレット端末での授業風景

質問 当町における小学校入学前の障害児の推計と受け入れ施設の現状は

福祉推進課長 いわゆる手帳の保持者以外の把握には課題があるが、発達の遅れている人

を含めて概ね同年代に30名程度と認識している。また、町内には専門の通所施設がないので各保育所において保育士の障害児に対する加配で対応しているのが現状だ。富士吉田市のマザーズホームに空きが有り入所した場合に、町の負担は一人当たり年額概算で約300万円になる。

町長 福祉政策の一環として中長期的な視野に立ち、財政状況も勘案するなかで町政運営

ビジョンに反映できるか検討して

いきたい。

2025年問題に伴う社会保障は

質問 2025年問題に伴う地域包括支援センター等の見直しは。

健康増進課長 改正介護保険法が

平成27年4月から施行される。それに伴い介護保険制度が大きく変わることになる。地域包括支援センターの機能強化を図るよう国の指導もあるが、現在の体制では非常に厳しい。人的配備を含め、検討に入らなければならぬ。

町長 しつかりと検討すると共に、財政面で国に強くアピールして行きたい。

町内視察

文教社会常任委員は、11月19日に船津小学校、町民体育館、船津福祉センターなどを視察しました。



船津小学校視察

観光の集客率はどうか

質問 本年度観光の月別集客数はどのようになっているのか。

観光課長 イベントの集客統計では平年並であるが、西湖いやしの里根場、西湖蝙蝠穴などの町営施設及び民間施設を合わせた立ち寄り施設への入り込み数は、4月から9月までが278万2千人で対前年比7%減、7月は52万2千人で対前年比13%減、8月は56万2千人で対前年比8%減となっている。

トイレの案内をわかりやすく

質問 大池公園にあるトイレの場所がわかりにくいという苦情への対応は。

観光課長 トイレへの進入路の看板を設置しているが、利用者からの視線と導線を考えて検討する。

質問 6月定例会一般質問で狭隘（きょうあい）道路に関して、条例制定に向けて検討しているとの答弁であつたが、条例制定への進捗はどうになっているのか。



狭隘道路

都市整備課長 基本的な案は出来上がっているが、検討しなければならない点がある。狭隘道路は1・8m未満の道であり、中心線から2メートルセットバックして4mを確保するものである。狭い部分は町へ寄付をし測量、登記となるが、補助金・補償料の額等などで

質問 道路の拡幅工事は済んでいるが、町全体で登記していない箇所はどのくらいあるのか。

都市整備課長 旧河口湖町において未登記箇所は3000程あり、現在、数は把握していないが引き続き処理をしている。

未登記については、個人等からの申請があつた場合、町の費用で測量、分筆をしている。

質問 登記を一件当たり処理するのに費用はどのくらいかかるのか。

都市整備課長 場所、面積、地形等によつて一概には言えないが、一般的な市街地のなかで宅地の分筆をすれば、25万円から30万円程度必要になる。

質問 かなりの筆数を処理するために、毎年予算を計上し計画的に対応しないと増えるばかりだが、その対応はどうか。

町長 全体的に精査するなかで今後の計画を考えていく。

3 産経土木常任委員会

町道の老朽化対策は

質問 町道において亀の甲やパッチワークのようになつているなど老朽化した舗装及び側溝の補修への対処はどうようになつてているのか。



除雪作業のようす

都市整備課長 去年から主要幹線や学校周辺道路等の道路状況点検は、終了している。現在の道路状況は把握しているので国の補助金を利用して事業を進めていきたい。本年度はインター線を行い、来年度は河口湖駅前線を行なう予定である。要望がある主要幹線は、点検をした中で悪いところから優先的に対応していく。

除雪と排雪

質問 河口湖駅前線は積雪が20cm以上になれば排雪とあるが、町全体についてはどのように考えているのか。

都市整備課長 すべて排雪したいが、相当な支出が見込まれるので今年度は、公共機関であり、一番重要な路線として河口湖駅前線を行う予定である。要望もあると思うので、それぞれの道路も状況を見ながら対応していく。除雪費用も今まで距離単価で算出していたが、時間及び機種単価を町基準として新しい単価を設定して業者に依頼する。

町内視察

産経土木常任委員会は、11月26日に富士ヶ嶺バイオセンター、町道7011号線（長浜）、扇崎トンネル、新倉河口湖トンネルを視察しました。



新倉河口湖トンネル視察

がんばれGUNNERS!

勝山ミニバスケットボールクラブ
保護者会長

小佐野 尚（勝山）

をバクバク楽しそうに食べている姿
に「たくましさ」を感じます。

私たちのミニバスケットボールチ
ーム『勝山GUNNERS』は、小
学校女子を対象としたスポーツ少
年団です。GUNNERS（ガナ
ーズ）というチーム名は、勝山で毎春
行われている流鏑馬まつりの『射手
（いて）』の様に、的めがけてシュート
を決める選手達の集団をあらわし
ています。

富士河口湖町には、各地区にミ
ニバスチーム（男子・女子）が存在し、
それぞれのチームが毎年行われる
各種公式・非公式試合での「勝ち」
をめざし切磋琢磨しています。

ミニバスチームは、バスケットの
入門基礎集団ですが、小学生女子
のチームであっても、勝負は勝負。
思うようなプレーができなくて悔
し涙を流すこともしばしばあります。
夜明けと同時に出かけて行つた
遠征先で他県の常勝強豪チームに
あたつてボロボロになるときもあ
ります。その一方で、みんなで食
をいたくだく時には、ケロッとお弁当



新入部員を募集しています。

議会見聞録

わざわざ議場まで足を運ばずとも、CATVの中継とか
録画放送を見ればとも思うが、テレビからは感じ取れない
臨場感、そして傍聴席で聞き入る議員と執行部とのやり取りでの迫力感に期待を持ち、傍聴席に着いた。

議員の質問は通告性のため、担当部署の答弁は的確(?)と感じられました。

しかし以前傍聴した時より、どことなく迫力に欠けると
言うか、緊張感が感じ取れませんでした。

何故…

直面する喫緊の事案がないから？ 議会のオール与党化？ それとも傍聴人が少ないから？

そんな事を感じながら聞き入っているうちに、町の人口問題に関する質問に関心がひかれた。少子高齢化が呼ばれている今、町全体では増加、にも拘わらず地区別に見ると減少地域が目立つ、この事に対する今後の町および議会の対応・対策を注視する事が出来ただけでも収穫があったのでは。

(匿名)

議会を傍聴しませんか 次の定例会は3月です

どなたでも傍聴できます。議場入口で受付を
済ませ傍聴してください。
入口には注意事項が掲示されています。



委員	議会広報常任委員会
委員長	高山
副委員長	山下
鶴義	渡辺
正純	渡辺
安子	渡辺
佐藤	流石
中野	
渡辺	
渡辺	
泰治	
恭史	
利夫	
泰則	
貴民	
美雄	
武則	
倉沢	

新しい年を迎えた日々健
やかに過ごされているこ
とと思います。
今年は未だ、豊かな未来
が想像できる一年となる
ことを願います。
第45号議会だけは昨
年12月議会での一般質問
と委員会質疑の内容を解
かりやすく掲載しました。
取り組むべき課題はたく
さんあります。議会どし
て一つ一つ着実な解決に
向けて努力して参ります。
今年の議会だけよりも委
員全員で知恵をしぼりま
すので、皆様のご意見
ご感想をお寄せ下さい。
(渡辺英雄)

編集後記